



みんなで元気に泳いでね

子どもたちの健やかな成長を願って 藤田保育所 こいのぼり

子どもたちの元気いっばいな声が響き渡る藤田保育所の園庭に、4月10日からこいのぼりが上がりました。

青空のもとで元気に泳いでいるこいのぼりを笑顔で眺めた子どもたちからは、「とっても気持ちよさそうだね」、「みんなで仲良く泳いでいて楽しそう」などの声が聞こえてきました。



委嘱状を受取る半澤さん

6年生に「家庭の交通安全推進員」委嘱 国見小学校交通教室

国見小学校の交通教室が4月17日、全児童が参加して行われました。教室では、藤田駐在所矢邊孝一主任から児童たちに安全な歩行や横断の仕方についての指導があったほか、6年生の児童に「家庭の交通安全推進員」が委嘱され、代表の半澤緋遥莉さんが「交通の決まりを守り、みんなのお手本になります」など4つの目標を宣誓しました。



全世帯へ向けたマスクの発送作業

布マスクをみなさんにお届け 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

感染防止に必要なマスクが手に入らない状況が続いていることから、町では高校生以上の方に1人2枚の布マスクを配付しました。今回配付した布マスクは、町内企業の株式会社東京エンゼル本社福島工場で製造されたものです。

なお、幼稚園、小学校、中学校の子どもたちには一足早く入学、入園式などで1人あたり3枚配付しました。



学習サポートする石橋さん（左）と門口さん（右）

地域おこし協力隊が学習支援 オンラインくみ学びサポート

地域おこし協力隊の門口礼さんと石橋奈々さんが町の小学生と中学生を対象としたオンライン学習支援サービス「オンラインくみ学びサポート」をスタートしました。

学校が休校となり、自宅で過ごしている子どもたちの勉強や学びのサポートをパソコンやタブレットなどで会話ができるアプリを使用して、個別対応で支援をしています。



令和2年度もオール国見でまちづくりに取り組みます

オール国見でまちづくり まちづくり推進協議会

国見町まちづくり推進協議会（遠藤一夫会長）が4月24日に開かれ、町内外へのPRと地域活性化に向けて今年度の事業計画などについて協議をしました。

同協議会は、町や議会、町内会長連絡協議会、商工会、JA、婦人会をはじめとする各団体代表者により構成され、町の活性化に向けた活動に取り組んでいます。



会報をPRする中村会長（左）と会員の笠松金次さん（右）

町の歴史を後世へ ふるさとの歴史を研究

国見町郷土史研究会（中村洋平会長）は3月に会報「郷土の研究」第50号を発行しました。

中村会長は、「今号では、50号の記念として義経の腰掛松の絵と石碑の研究や1964年東京五輪の町内走者の当時の感想のほか、町内の歴史の研究など多彩な話題を掲載しています」と会報を紹介しました。



本多校長にランドセルカバーを手渡す太田町長ら

新入児童の交通事故防止のために ランドセルカバーを贈呈

国見ライオンズクラブ（近久寿幸会長）と国見町交通対策協議会（太田久雄会長）は4月3日、国見小学校の新入児童47名に交通安全ランドセルカバーを贈呈しました。

贈呈式は国見町役場で行われ、近久会長と太田会長から本多康弘国見小学校長へ黄色いランドセルカバーが手渡されました。



町内の無火災を願って

火災の無いまちへ祈りを込めて 国見町消防団が無火災祈願

国見町消防団（村上信夫団長）による無火災祈願が4月5日、鹿島神社で行われ、太田久雄町長や村上団長をはじめとする幹部団員が参列しました。

無火災祈願では、太田町長、村上団長が神前に玉串をささげ、参列した消防団員は、町内の無火災と消火活動にあたる団員の安全を祈願しました。



みんなで交通ルールをしっかり守りましょう

交通ルールを守って事故撲滅を 春の交通安全運動

春の全国交通安全運動が4月6日から15日までの10日間、「スマホより横断歩道の 僕を見て」を運動のスローガンとして行われました。

運動期間中は、小中学生の登校時間帯に町交通安全団体の街頭指導や広報車による広報活動などが行われ、地域が一体となって交通事故防止へ取り組みました。



1年間の長期研修がスタートしました

農業の担い手を育成 くみ農業ビジネス訓練所長期研修

くみ農業ビジネス訓練所の長期研修生入講式が4月7日、同訓練所で行われました。

式では、太田久雄町長から菊池隆史さん、菊池徹さん、永山一樹さんの3名に受講許可書が手渡されました。3名は1年間の研修で就農に向けて野菜栽培や農業経営を学び、地域の農業の担い手となることを期待されます。